

イベルメクチンは馬や牛のためだけだと言っていたのを覚えていますか？

イベルメクチンは、1987年以來、人間用に作られたものです。

世界中で、のべ60億人が服用しています。

新型コロナウイルスや
⇨ワクチンの後遺症改善？

1 mRNA技術を使用して作られた薬物による損傷を防ぎ、スパイクプロテインの細胞への侵入を阻害し、もしその人がワクチン接種を受けていた場合、イベルメクチンによってすでに生じた損傷を治療できます。

2 Cウイルス治療において有益な効果しかなく、有害な効果はありません。実際、細胞に入る前からすでに血液中のウイルスを破壊しています。

3 非常に強力な抗炎症作用があり、外傷性および整形外科的損傷に対して強力な影響を及ぼし、筋肉を強化し、コルチコステロイドのような副作用がありません。

4 自己免疫疾患、例えば：関節リウマチ、強直性脊椎炎、線維筋痛症、乾癬、クローン病、アレルギー性鼻炎を治療します。

5 がん患者の免疫レベルを改善し、単純ヘルペスと帯状疱疹を治療し、蓄膿症と憩室炎の頻度を減少させます。

6 心臓負荷過多で心臓を保護します。例えば、塞栓症の場合、心筋低酸素症を防ぎます。なぜなら、組織が破壊されないように基本的なエネルギーの産生を刺激し、それによって心臓機能を改善するからです。

⇨心不全改善？

7 抗寄生虫、抗腫瘍（抗がん）作用があります。がん細胞の増殖と転移を抑制し、健康な細胞を保護し、化学療法の効果を上向きにさせていると言われています。

⇨抗がん？

8 化学療法に耐性のあるがん細胞を殺し、腫瘍が発達させる多剤化学療法耐性を克服し、化学療法および/または抗がん剤と組み合わせることで、これらの治療の効果を高めます。

9 抗微生物（細菌およびウイルス）作用があり、免疫を高めます。

⇨インフルエンザを含め20種類
のウイルスに効きます

10 中枢神経系に到達し、神経を再生します。

⇨認知症改善？

11 グルコース、インスリン代謝、コレステロールレベルを調整し、脂肪肝の肝脂肪を減少させます。

⇨成人病予防？

12 予防剤として使用でき、C-19による感染、入院、死亡率の有意な減少と関連しています。

イベルメクチンに期待できる効果

2026年3月末日